

本事業で目指す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の活動イメージ

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

目指す子どもの姿



個別最適な学び

協働的な学び

- ・不登校支援
- ・病弱の児童生徒への支援

指導の個別化

一人ひとりの学力や特性に合わせて、子どもが学習内容や学び方を選択し、基礎・基本となる知識や学び方を身につける学び。

学習の個性化

一人ひとりの興味・関心や必要性に合わせて、自ら学習を進展させ、探究していく学び。

問題を自分事として捉え、その問題を解決するために、柔軟に多様な他者とかかわる学び。

スタディ・ログを活用した学習

1人1台端末を活用して情報収集、データ処理、レポート作成等

グループチャットで自分の考えを書き込み、友達の考えと比較

異学年・他校・地域の人・専門家等との協働・交流

プレゼンツールを活用した発表
⇒感想を即時共有

アプリを活用し、情報共有しながら共同で作成・編集

自ら学習を調整

- ・クラウドで学習状況の確認
- ・自分に合った進め方で学習

朝・休み時間・放課後等を利用して学習を調整

多様な意見を共有しながら合意形成

授業の「振り返り」をフォームで送信
⇒担任からのコメントで自己評価
⇒新たな課題の設定、AIドリルでの学習等

自分に最適なアプリで学習（使用するアプリを担任が一律に指定しない）

1人1台端末を活用した情報の共有・Googleドライブの活用

1人1台端末 + 高速通信ネットワーク

Google
アプリ

AIドリル

デジタル教科書

MEXCBT

「ICT活用は当たり前」という考え方へのシフトチェンジ ～ICTの新たな可能性を指導に生かす～

<本事業推進の土台となるもの>

日常的なICT活用



授業での活用



授業外での活用・日常的な家庭への持ち帰り



クラウドの活用

- ・情報活用能力の育成（体系表の作成）
- ・みやぎ情報活用ノートの活用
- ・朝・放課後等に端末を活用できる環境 等